ひと目でわかる iOS 15の新機能

本書では、iOS 15に対応しているiPhone 12を使用した操作方法を解説しています（アップデート方法は次節参照）。またiOS 15になって、より使いやすい機能やアプリが追加されています。

iOS 15の主な新機能

Safari

iOS 15でiPhone標準のブラウザSafariが大きく変わりました。アドレスバーが画面下部に移動し、より高機能なタブバーになりました。タブは、「タブグループ」によって、テーマでまとめることができます。また、起動時に編集可能なスタートページが表示され、従来の「お気に入り」のほかに、ブックマーク、よく訪れるサイト、リーディングリスト、プライバシーレポートなどを表示することができます。

FaceTime

AndroidスマートフォンやPCのWindowsユーザーとも会話ができるようになりました。また、「SharePlay」と呼ばれる、音楽やビデオのストリーミングサービスのコンテンツを一緒に楽しむ機能が、後に予定されているアップデートで提供されます。

集中モード

通知の動作などを、これまでのおやすみモードに加え、シーン別にさらに細かく管理できるようになりました。標準で用意された「運転中」などから選ぶほか、自分だけのモードを作成することも可能です。位置情報や時間で自動的に有効にできるほか、重要な通知は集中モードでも通知することができます。

通知

いろいろなアプリから届く1日の通知の要約を、設定したスケジュールに合わせて（標準は午前8時と午後6時）表示できるようになります。

プライバシー

送信メールに記載される自分のIPアドレスを非公開にすることができるようになりました。また、受信メールに表示されるリモートコンテンツをすべてブロックするよう設定することもできます。

最新のiOS 15にアップデートする

インターネットからアップデートを行う際は、必ずWi-Fiに接続してから操作を行いましょう。Wi-Fiが利用できない場合や空き容量が少ない場合は、パソコンのiTunesからアップデートすることも可能です。

Wi-Fiに接続してアップデートする

① Sec.17の方法でWi-Fiに接続し、ホーム画面で＜設定＞をタップします。

② ＜一般＞をタップします。

③ ＜ソフトウェア・アップデート＞をタップします。

④ ＜ダウンロードしてインストール＞または＜今すぐインストール＞をタップします。「お使いのソフトウェアは最新です。」と表示されている場合は、アップデートの必要はありません。

Section 05

コントロールセンターを利用する

iPhoneでは、コントロールセンターからもさまざまな設定を行えるようになっています。ここでは、コントロールセンターの各機能について解説します。

コントロールセンターで設定を変更する

① 画面右上から下方向にスワイプします。

② コントロールセンターが表示されます。上部に配置されているアイコン（ここでは青表示になっているWi-Fiのアイコン）をタップします。

③ アイコンがグレーに表示されてWi-Fiの接続が解除されます。もう一度タップすると、Wi-Fiに接続します。画面を上方向にスワイプすると、コントロールセンターが閉じます。

MEMO コントロールセンターの触覚タッチ

コントロールセンターの項目の中には、触覚タッチで詳細な操作ができるものがあります。

Section 09

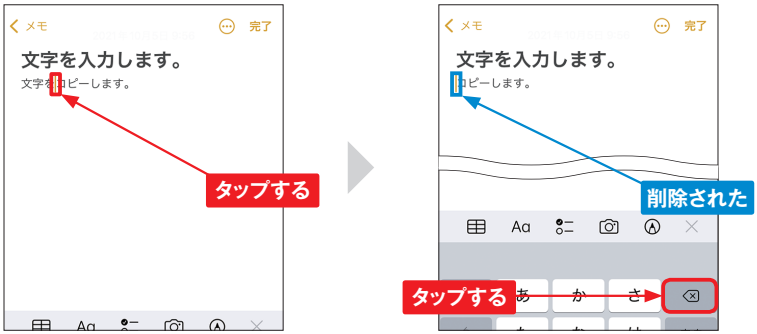
文字を編集する

iPhoneでは、入力した文字の編集や、コピー&ペーストといった操作がかんたんに行えます。メールやメモを書く際には欠かせない機能なので、使い方をしっかり覚えておきましょう。

文字を削除する

① 文字を削除したいときは、削除したい文字の後ろをタップします。

② ⌫を消したい文字の数だけタップすると、文字が削除されます。



MEMO タップでテキストを選択する

テキストをタップすることで、単語や文、段落を選択することができます。単語を選択するには、選択したい単語を1本指でダブルタップ、行または文を選択するには、1本指でトリプルタップします。また、選択範囲の最初の単語をダブルタップしたまま選択範囲の最後の単語までドラッグすることで、テキストの一部が選択できます。

着信拒否を設定する

iPhoneでは、着信拒否機能が利用できます。なお、着信拒否が設定できるのは、発着信履歴のある相手か、「連絡先」に登録済みの相手です。

履歴から着信拒否に登録・解除する

① P.44手順①～②を参考に「履歴」画面を表示し、着信を拒否したい電話番号のⓘをタップします。

② <この発信者を着信拒否>をタップします。

③ <連絡先を着信拒否>をタップします。

④ 着信拒否設定が完了します。<この発信者の着信拒否設定を解除>をタップすると、着信拒否設定が解除されます。

Section 16

Apple IDに支払い情報を登録する

iPhoneでアプリを購入したり、音楽・動画を購入したりするには、Apple IDに支払い情報を設定します。支払い方法は、クレジットカード、キャリア決済から選べます。

Apple IDにクレジットカードを登録する

1 ホーム画面で<設定>をタップします。

2 自分の名前をタップします。

3 <支払いと配送先>をタップします。

4 <お支払い方法を追加>をタップします。

MEMO 支払い用のApple IDを登録する

すでにiPadなどのApple製品を使っていて、支払いにApple IDを登録している場合は、そのApple IDを登録すると、支払いを一本化できて便利です。iTunes StoreやApp Storeに登録するApple IDは、Sec.15で設定したApple IDと違っていても問題ありません。支払い用のApple IDの登録は、「ホーム」画面で<App Store>→→<サインアウト>→<サインイン>の順にタップし、支払い用のApple IDとパスワードを入力してサインインします。

Section 20

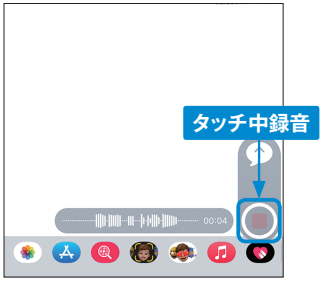
iMessageの便利な機能を使う

<メッセージ>アプリでは、音声や位置情報をスムーズに送信できる便利な機能が利用できます。なお、それらの機能を利用できるのは、iMessageが利用可能な相手のみとなります。

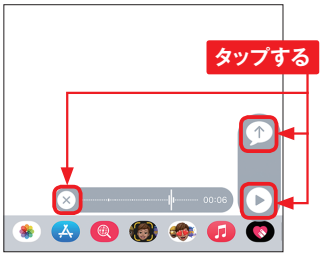
音声をメッセージで送信する

1 <メッセージ>アプリでiMessageを利用中に、をタッチします。

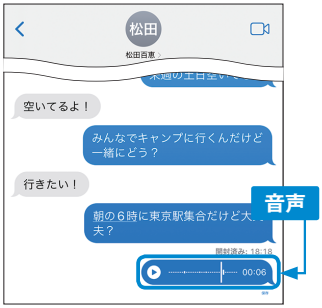
2 音声の録音が開始されます。画面をタッチしている間、録音されます。録音が完了したら指を離します。



3 音声をそのまま送信する場合は、をタップします。をタップすると、録音したメッセージが再生されます。をタップすると、キャンセルできます。



4 音声が送信されます。



4

Section 31

拡張機能を利用する

Safariには便利な拡張機能を追加することができます。拡張機能は<App Store>アプリからインストールする必要があるので、インストール方法はSec.41を参照してください。

拡張機能を追加する

① ホーム画面で<設定>をタップして、<Safari>をタップします。

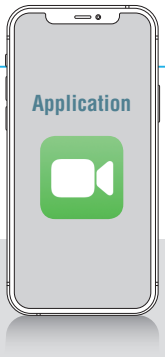
② <機能拡張>をタップします。

③ <機能拡張を追加>をタップします。

④ <App Store>アプリに移動するので、Sec.41を参考に拡張機能をインストールします。

Section 47

FaceTimeを利用する



FaceTimeは、Appleが無料で提供している音声／ビデオ通話サービスです。iPhoneやiPadなど、FaceTimeに対応した端末同士での通話が可能です。

FaceTimeの設定を行う

7

① ホーム画面で＜設定＞をタップします。なお、必要であればあらかじめSec.17を参考に、Wi-Fiに接続しておきます。

② ＜FaceTime＞をタップします。

③ 「FaceTime」が ○ になっている場合はタップします。

④ FaceTimeがオンになります。Apple IDにサインインしている場合は自動的にApple IDが設定されます。

Section 48

AirDropを利用する

AirDropを使うと、AirDrop機能を持つ端末同士で、近くにいる人とかんたんにファイルをやりとりすることができます。写真や動画などを目の前の人にすばやく送りたいときに便利です。

AirDropでできること

すぐ近くの相手と写真や動画などさまざまなデータをやりとりしたい場合は、AirDropを利用すると便利です。AirDropを利用するには、互いにWi-FiとBluetoothを利用できるようにし、受信側がAirDropを＜連絡先のみ＞、もしくは＜すべての人＞に設定する必要があります。

AirDropでは、写真や動画のほか、連絡先、閲覧しているWebサイトなどがやりとりできます。対象機種はiOS 7以降を搭載したiPhone、iPad、iPod touchと、OS X Yosemite以降を搭載したMacです。

また、見知らぬ人からAirDropで写真を送り付けられることを防ぐために、普段はAirDropの設定を＜連絡先のみ＞、または＜受信しない＞にしておくとよいでしょう。

画面右上を下方向にスワイプしてコントロールセンターを開き、左上にまとめられているコントロールをタッチします。＜AirDrop＞をタップします。Wi-FiとBluetoothがオフの場合は、タップしてオンにします。受信側は、＜AirDrop＞が＜受信しない＞の場合は、タップします。

＜すべての人＞をタップすると周囲のすべての人が、＜連絡先のみ＞をタップすると連絡先に登録されている人のみが自分のiPhoneを検出できるようになります（iCloudへのサインインが必要）。AirDropの利用が終わったら、＜受信しない＞をタップします。